

## 1 国語に関する調査

## 【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができている。図やグラフを用いた指導を計画的に行った成果だと考えられる。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う問題の正答率が他の問題に比べて高い。

## 【課題】

- 文章に合った漢字を書くことに課題が見られる。漢字を正しく覚えるために、反復練習の時間を十分取ったり、文の中で正しく使うことができるように例文づくりに取り組ませたりしていく。
- 人物像を具体的に想像することについて課題が見られる。登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断できるように指導していく。

## 2 算数に関する調査

## 【特長】

- 数量の関係を、□を用いた式に表すことができている。話し合いを通して学ぶ機会を多くすることで、問題場面をより具体的に考えることができるようになったからだと考えられる。
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができている児童が多い。グラフからわかることを、伝え合う活動を多く取り入れていたためだと考えられる。

## 【課題】

- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題が見られる。図形の構成の仕方や性質について道筋を立てて考察し、実感を伴いながら理解を深める学習活動を充実させる必要がある。
- 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することに課題が見られる。日頃から答えの見当をつける習慣を身に付けさせていく。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- 地域社会をよりよくするために何かしてみたいと答えた児童が多い。加えて人の役に立つ人間になりたいと答えた児童も多い。地域行事などに積極的に参加する姿からこのような気持ちが芽生えているのではないかと考えられる。
- 授業の中で、ICT 機器を利用していると答えた児童が増えた。教員も児童もタブレット端末に慣れ始め、学習目標を達成させるための手段として授業で活用してきた結果だと考えられる。

#### 【課題】

- 新聞を読んでいる児童の割合が低い。新聞や図書館の本を活用した授業や読書に係る言語活動を充実させるとともに、新聞や本のよさを感じさせる必要がある。
- 道徳の授業は、自分の考えを深め、集団で話し合う活動に取り組んでいると答える児童が少ない。自分事として考えたり、友達の意見と比べたりするなど話し合い活動の充実をさらに図る必要がある。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 基礎基本を確実に身に付けさせるために、授業内の復習時間の確保や家庭学習につながる励ましをしていく。
- 単元末には振り返りの時間を設定することで、自らの成果を明確にし、充実感をもたせることで学習意欲の向上につなげていく。
- 話し方聴き方の系統表を使いながら話し合い活動を多く取り入れ、自分事として考えたり、友達の意見と比べたりする経験をさせる。
- 読むことの学習との関連を意識して読書活動の年間指導計画を立て、朝の読書活動や教科書の関連図書の紹介やそれを活用する取組を通して、日常的に読書に親しむことができるようにする。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- スマートフォンやゲームの時間が多くなっています。扱い方について、今一度家庭でご確認をお願いいたします。
- 家庭学習の時間が少ないようです。お子さんと一緒に興味をもって持続できる学習内容を探してみてください。
- 児童が読書に進んで取り組めるよう、図書館に行く機会を設けることやデジタル図書館の活用などを通して読み聞かせや親子で一緒に読書する時間を取っててください。